

~~~~~  
雑 報  
~~~~~

1982 年中に近日点を通過した彗星のローマ数字記号

(本誌 1983 年 4 月号 111 頁よりつづく)

1982 年中に近日点を通過した彗星は、下表のとおりであって、近日点通過の日付けの順にローマ数字による番号が付けられることになっている。1982 年中に近日点を通過した彗星は 10 個で、その内の 2 個が新彗星であり、7 個は周期彗星の再検出、1 個は新周期彗星である。

った。表の 1980 II P/du Toit-Hartley は、1945 II du Toit 第 2 彗星の回帰の検出であって、1982 b と 1982 c の 2 個に分裂していた。表の T は 1982 c の値であり、こちらを主星とみなしている。ちなみに、1982 b の T は、1982 Mar. 30.8 である。

次に、1982 III P/Peters-Hartley 彗星は、1846 VI P/Peters 彗星の 17 周回目の検出である。

さらに、1982 X P/Gunn 彗星には、その軌道の全周での観測が可能であるため仮符号はつけられない。

(香西洋樹)

1982 年中に近日点を通過した彗星のローマ数字記号

(本誌 1983 年 4 月号 111 頁よりつづく)

記 号	仮符号	名 前	近日点通過(U.T.)	発見・検出者	発 見 日	発見光度
1981 I	1980 b	Bowell	1982 Mar. 12.3	E.L.G. Bowell	1980 Feb. 11	16.5
1982 II	—	P/du Toit-Hartley	Mar. 30.4	M. Hartley	1982 Feb. 5	14
1982 III	1982 h	P/Peters-Hartley	May 9.3	M. Hartley	1982 July 11	15
1982 IV	1982 a	P/Grigg-Skjellerup	May 15.0	J. Gibson	1982 Jan. 15	19
1982 V	1981 l	P/Väisälä 1	July 30.6	J. Gibson	1981 Dec. 7	20.5
1982 VI	1982 g	Austin	Aug. 24.7	R.R.D. Austin	1982 June 18	10
1982 VII	1982 e	P/d'Arrest	Sept. 14.3	G. Schwartz	1982 Apr. 23	19
1982 VIII	1982 f	P/Churyumov-Gerasimenko	Nov. 12.1	J. Gibson	1982 May 31	18.5~19
1982 IX	1983 i	P/Russell 3	Nov. 23.2	K.S. Russell	1983 June 14	16
1982 X	—	P/Gunn	Nov. 26.9	—	—	—

~~~~~  
お 知 ら せ  
~~~~~

~~~~~  
訂 正  
~~~~~

三菱財団自然科学研究助成募集

上記について三菱財団より本会宛に募集要項が来ています。応募を希望される方は学会事務所に御連絡下さい、個別に下記宛「三菱財団自然科学研究助成応募要項」を御請求下さい。

宛 先 財團法人 三菱財團

〒100 東京都千代田区丸の内 2-5-2

三菱ビル 15 階 Tel. 03-214-5754

助成の金額は総額約 1 億 5 千万円、1 件 2 千万円以内、研究期間は原則として 1 年、応募締切は昭和 59 年 5 月 21 日、助成金贈呈は 10 月 19 日。

2 月号「私と天文学」岸田純之助氏記事中、右側上より 6 行目「モクソン教授」を「モリソン教授」に、12 行目「月」を「円」にそれぞれ訂正し、お詫び致します。

☆ ☆

☆ ☆ ☆